

sinrei 榛 黎

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL : 027-371-3244

FAX : 027-371-6968

<http://www.gunma-iaf.ac.jp>



関東ブロック大会交流会



第 32 回 榛の木祭



農林大最後の 2 年生学年集会

私は、明日の見えない環境の中で、あきらめずに自分なりの努力を重ねることが、自分を高め、自分を助け、自分の道を切り開いてゆく唯一の営みだと思っています。ときには、運に恵まれず、いい結果の出ないときもあるでしょうが、どうぞこのことを忘れずにいてください。皆さんは、この二年間で、確実に自分で自分の道を切り開いてゆく力をつけました。社会人として、いつの日か、自分で自分の道を切り開いていくおもしろさを食べて生きていける人になっていただきたいと思います。結びに、皆さんに「農林大ではほんとうによくやったね。お疲れ様。社会に出て、急がず休まず一生懸命やりましょう。」と申し上げ、贈る言葉とさせていただきます。

二年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は、優しく親切な皆さんが大好きでした。お別れすることが、なごり惜しくなりません。皆さんは、この二年間がんばりました。日々の学習や実習、課題研究に取り組み、榛名登山、スポーツ大会、榛の木祭などの学校行事に積極的に関わり、加えて就農準備や就活にいそしみました。こうした中で、皆さんは大きく成長されました。同時に多くの仕事をこなすことや、試験に受かるか、人に評価されるかわからない不安な環境の中で、こつこつと勉強や就農準備、就活に努力されました。また、寮生活を通して、人と人との関わり合いの難しさ、すばらしさ、奥深さをつかまれました。こうして、皆さんは、すばらしい知識、技術と、立派な態度や心構えを着々と身につけていきました。

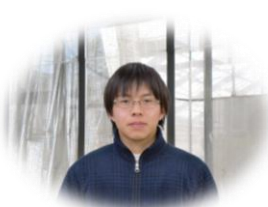


卒業生に贈る言葉

校長 尾藤 篤



私の進む道



野菜コース 野中 有哉

私は普通高校出身ですが、実家が農家で、将来、農業関係の仕事に就

きたいと考え農林大学校に入校しました。農林大で学ぶ中で農業共済組合について知り、農業共済で働くことによって農家の力になれると思ひ、農業共済に進路を決めました。

農業共済では農作物や農業施設などが自然災害による被害を受けた際の補償事業を行っています。農業共済で働くことで、農家が安心して農作物を栽培できるように支援していきたいです。



花き・果樹コース 田村 祐樹

私は、果樹農家の十六代目に生まれ、物心ついた時から家業を継ぐつもりでいました。しかし、私は果

樹の栽培方法に関する知識が全くなかったため、農林大学校に入校しました。卒業後、私は農業後継者となります。家では、学校や体験学習先で学んだことを生かして、新たにモモを導入しようと考えています。まだ、少し不安はありますが、家族や仲間、地域の力を借りて、未来に貢献できるような農家を精一杯頑張る目指します。



酪農肉牛コース 山本 美華

私は農林大学校を卒業後は、榛名にある牧場に就職

が決まっています。この牧場は、成牛二百頭規模で十人の従業員がいます。本校の十倍規模の牧場ですが、授業や実習で学んだことを生かせると思います。

三月には、家畜人工授精師の資格が取得できますが、この牧場で授精技術を磨き、牧場に貢献できるように人材になりたいと考えています。そして、乳量、乳質の向上にも貢献できればと思います。



農業コース 木村 萌乃

私は元々、農業関係の仕事に就きたいと考えていました。二年生の春

から夏にかけてJAの直売所で研修をさせていただき、そこでJAに興味を持ちました。就職先は研修でお世話になったJAに内定をいただきました。JAの業務は幅広いいため、様々なことを学ぶことができますと思ひます。仕事を通して自分自身を成長させ、また地域に貢献していけるよう、何事にも努力していきたいと思ひます。



森林・環境コース 飯塚 健

私は、高校生の時から、林業という職を志していました。

林業の世界に入るために農林大に入校し、チェーンソーや刈払機などの取り扱いをはじめ、実習に真剣に取り組み、技術を高めてき

ました。私は無事に林業関連会社に内定をいただき、春から現場に出て、実際に働きはじめます。社会に出ても、農林大で学んできた技術を生かしつつ、もっと技術の向上を目指し、日本の森林の管理に努めていきたいと思ひます。



社会人コース 倉田 裕基

この一年間農林大学校で農業をテーマに体験、学習し多くの資格を取

ることができました。妻と子供が一人おり、本来なら日々働いていなければならぬ身ですが、こうして一年間、学生として過ごせたのは、家族の理解、支えがあったからであり感謝の気持ちでいっぱい

です。卒業後は、妻の実家に就農し施設トマトの栽培を始めます。農林大学校で学んだ経験を生かし安定した農業経営をめざして今後も努力していきます。

課題研究発表に取り組んで!

【校内課題研究発表会】

平成二十六年十一月二十五〜二十六日に開催し、二年生全員が課題研究の成果をパワーポイントにより発表しました。また、一年生の各コース代表が意見発表を行いました。

【代表課題研究発表会】

平成二十六年十二月十一日に群馬会館にて校内発表会で選ばれた課題研究発表七名、意見発表二名による成果発表を行いました。この発表会は関東ブロック実績発表会の選考を兼ねており、審査の結果、課題研究は最優秀賞に小林祐太郎さん(花き・果樹C)、優秀賞に井出知寿さん(花き・果樹C)、優良賞に井田達也さん(農業C)、意見発表は最優秀賞に小暮香緒里さん(花き・果樹C)が選ばれ、本校の代表に決定しました。また、特別発表として後藤圭太さん(農業C)が意見発表を行いました。

【関東ブロック実績発表会、全国農業大学校プロジェクト発表会・交換大会】

平成二十七年一月二十二〜二十

三日に関東ブロック実績発表会が本校を当番校として新前橋の群馬県社会福祉総合センターで開催され、小林祐太郎さん(花き・果樹C)が一位、井出知寿さん(花き・果樹C)が二位に入賞しました。



二月十二〜十三日に東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された全国大会には、関東ブロック代表の一人として小林祐太郎さんが発表し、全国から集まった学生との交流を深めてきました。

今回の関東ブロック大会では、本校実行委員会が交流会を開催し関東各県十一校の学生と親睦を深めました。実行委員長として活躍した神小雪さん(農業C一年)は次のように話しています。



「二日目の発表を終え、夜は学生と教職員の間で交流会を行いました。各テーブルで食事と会話を楽しみながら抽選会を行い、景品のダルマがとても好評で、ダルマと一緒に写真を撮っている人もいて、会話のきっかけづくりとなっていました。関東の学生同士の親睦がより深まったと感じました。また、今回発表された先輩を目標に、私たち一年生も課題研究に励みたいと思います。」

また、課題研究への取り組み方法について、次の点について一年生に伝えて欲しいと言っていました。



「仮説の重要性・データ収集の大切さ・取り組み内容に対する理解」

次回の関東ブロック実績発表会は静岡県で平成二十八年一月二十一日〜二十二日に、二月に全国大会が開催されます。

次は、あなたの番です。関東ブロックそして全国大会に参加し、全国の学生とのネットワーキングを目指してください。

四県親善スポーツ大会

十月十五日に埼玉・長野・新潟・群馬の四県農業大学校対抗の親善スポーツ大会が埼玉県の坂戸市民総合運動公園で開催されました。

各種目とも昨年以上の結果を目標に練習した成果を発揮することができ、迫力あるプレーが展開されました。応援する側も手に汗握る緊張したゲームが展開され、興奮と感動の連続でした。

三連覇を目指した卓球は、初戦の新潟に敗れてしまいました。昨年三位の野球は、決勝戦の最終回で一打同点で三者凡退でした。

昨年四位のバレー部は、三位決定戦で埼玉に勝利し、バドミントンは惜しくも全敗となってしまいました。最後にバスケットが、接戦を制し大会が終了しました。

【本校の成績】

- バスケット 優勝
- 卓球 準優勝
- 野球 準優勝
- バレーボール 三位
- バドミントン 四位

来年は長野県で開催されます。今から学生の活躍が楽しみです。

農と食の生き生き体験ことも塾
研修部就農支援係

子供たちに、自然豊かな環境の中で作物を育て収穫の喜びを感じてもらうことを目的に、サトイモの栽培体験を農林大のほ場で実施しています。

本年度は、高崎市及び榛東村の保育・幼稚園児が参加し、四月の植え付けに始まり、六、七月の除草作業と生育観察を行いました。



十一月にはサトイモを収穫し、きな粉をまぶしたお団子や、ふだん食べることの少ない親イモを使ったサトイモチップスなどのおやつを、みんなで味わいました。泥まみれになりながら、夢中になって収穫に汗を流した子供たち。



カゴいっぱいのおイモと美味しいおやつに、笑顔満点でした。

第三十二回様の木祭開催

平成二十六年十一月八日(土)・九日(日)の二日間開催されました。

「From Us」農林業が創る笑顔をあなたに〜をテーマに、学生が栽培した野菜や花などの農林産物を販売したり、豚汁やきのこうどん・焼きそばなどの模擬店運営、寄せ植え体験や収穫体験、搾乳体験、餅つき、木のおもちやづくりなどのイベントを実施し農林大の魅力を紹介しました。

また、各コースを紹介した展示コーナーの設置やステージにおいては男装女装コンテストやバンド演奏などを企画し大いに盛り上がりました。チャリティーバザーでは、学生や職員が持ち寄った品物を後援会役員の皆様のご協力により販売し、売上金を上毛新聞社「愛の募金」に寄付しました。今年の会場は、新たにテニスコート内を有効活用し、二日間で約三千人の来場者で賑わいました。これからも魅力的な学園祭を目指していきますので是非ご来場ください。

部活動紹介〜バスケット部〜



四県親善スポーツ大会にて

バスケット部は部員十名、マネージャー一名で、週二回の校内練習の他、社会人チームで練習している学生も多くいます。今年度は四県スポーツ大会での優勝を目標に、現役高校生との練習試合を行うなど、実践に対応出来る練習をしてきました。四県スポーツ大会の決勝戦は昨年度と同じ新潟との対戦となりました。終盤に二点差まで追いつかれ苦しい展開でしたが一年生の3ポイントが決まり優勝することができました。連覇を目標に来年度も頑張ります。

平成二十七年度自治会役員紹介

私たちは、昨年度の自治各役員の皆さんが築いてくれた農林大生活を、さらに充実した学生生活に貢献できるようみんなで力を合わせて頑張ります。学校と学生の架け橋となり、ぐんまちゃんに負けないよう三十二期生として農林大の更なる一歩を踏み出すことを目指します。

- 会長 神 小雪(農業)
- 副会長 恩田 佳明(野菜)
- 副会長 神澤 香奈(農業)
- 書記 山岸 祐太(花き・果樹)
- 書記 栗原 誠実(森林・環境)
- 会計 小池 友和(酪農肉牛)
- 会計 黒川 李菜(花き・果樹)



平成 27 年度自治会役員